

助成事業実施報告書

団体名 特定非営利活動法人 結

代表者・役職名 氏名 理事長 米倉 三仁

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願いします)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

ホーム車両購入

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

厳しい養育環境にあるすべての子ども達に対して安全で安心な環境を提供するとともに、望ましい支援を行い、より良い発達を保証し、子どもの健全育成に寄与する事を目的とし、平成23年2月にNPO法人「結」の設立、子ども達に社会的信頼と自己肯定感を醸成し社会的自立をするために自立援助ホームの運営として同年6月に「樹の下ホーム」の開設に至りました。現在、会員数48名。自立援助ホームの定員は6名です。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

ホーム用の車両の用途は、通院や突発的な怪我と病気の際の送迎、子どもの引越し作業で運搬には必要不可欠となっています。また、ホームの場所が駅から遠く交通手段がバスなのですが、仕事や電車遅延などで終バスが無くなり迎えが必要な事も多々ありました。また物件を探す際にその地域の見学や職場見学の要望もありました。日頃の業務でも荷物の運搬は頻繁にあり、その度にホーム長の私物であるセダンで何往復したりすることもあります。そこで限られた人員の中で多くの時間を割く事があり、その度に人員調整をすることもしばしばだったので、この度申請をさせて頂きました。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

子どもの引越し作業、通院(特に急な病気の時)の送迎。駅からホームまで遠いのですが仕事が遅くなった時にバスも早く無くなる為、急な迎えが必要な時の迎え。家具購入などの運搬、フリーマーケット用の荷物の運搬、フードバンク寄付の運搬など、様々な場面で必要となっている為、それに適した車両の購入を希望しております。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

購入直後から台風の影響で子どもの送迎が必要になりました。緊急時にすぐに対応することが出来たことと、またホーム車両がない事で起こっていた職員間のシフト調整が不要になった事がとても大きいです。12月末にはフリーマーケットを開催しましたが、それも購入した車両を使用して、今まで2・3回に分けて運んでいたのを1度で出来る容量もありがたかったです。購入後、少ししてホームの改修工事による駐車スペースの関係で、しばらく車が使えなかったのですが、現在はその問題も解消されました。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

すでに1度、修理に出しており定期的なメンテナンスが必要な課題かと思えます。
今後は退所者の引越しの運搬などで使う機会もますます増えますが、退所者の必要な生活費の削減に少しでもつながればと思います。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし